

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[混合の可能性のあるエリア](#)

[履歴](#)

[製品の詳細](#)

[Cisco Prime Collaboration パッケージ製品](#)

[Cisco Prime Collaboration 保証](#)

[Cisco Prime Collaboration プロビジョニング](#)

[Cisco Prime Collaboration Manager](#)

[Cisco Unified Communications 管理 スイート](#)

[Cisco Prime Unified Operations Manager](#)

[Cisco Prime Unified Service Monitor](#)

[Cisco プライム記号によって統一されるサービス統計情報マネージャ](#)

[Cisco Unified Provisioning Manager](#)

概要

この資料は混合を防ぎ、さまざまなツールについて教育し、提供するために Cisco さまざまな音声とビデオ関連の管理アプリケーションの違いをサポートをどこでについての有用な情報を受け取るか記述したものです。機能性、指名、およびバージョンのオーバーラップが原因で、混合が起こるかもしれない複数のシナリオがあります。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のハードウェアに基づくものです。

- Cisco Prime Collaboration 保証
- Cisco Prime Collaboration プロビジョニング
- Cisco Prime Collaboration Manager

- Cisco Prime Unified Operations Manager
- Cisco Prime Unified Service Monitor
- Cisco プライム記号によって統一されるサービス統計情報マネージャ
- Cisco Prime Unified Provisioning Manager

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

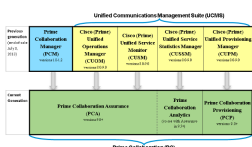
背景説明

混合の可能性のあるエリア

- **プライム記号の使用**-7つのアプリケーションがすべて名前的一部分として**プライム記号**が含まれていることに注目して下さい。さらに、それも Cisco 他多くの管理関係の製品の名前的一部分として使用されます。従ってどのアプリケーションがについて特定参照され、製品を**プライム記号**が単にとして参照しないため、クリアであることは重要であり。指名およびよくあるエイリアスに関する更に詳しい情報については製品の詳細セクションを参照して下さい。
- **発動を促して下さいコラボレーションの vs 主なコラボレーション マネージャ-プライム記号** コラボレーションが保証および供給サーバが含まれているビデオ 管理アプリケーションの現在のパッケージ製品をおよび音声示すことに注意して下さい。それはより古いビデオ関連の製品の **Prime** 同様にネームド **Collaboration マネージャ (PCM)** から別途および個別です。これらの製品の間で区別するために使用される有用な特性は製品バージョンです: **主なコラボレーション**にバージョン 9.0 および それ 以降がある一方、PCM にリリース 1.x があります。
- **バージョン-** Unified Communication 管理スイート (UCMS) および主なコラボレーション 製品は両方リリース 9.0、および共有同じような機能/インターフェイスを備えています。混合が起こる場合、Operating System (OS) のメモを作して下さい: すべての UCMS アプリケーションはすべての**主なコラボレーション アプリケーション**は Linuxベースであるが Windowsベース Microsoft です。
- **コラボレーションの発動を促す**以前のアプリケーションからのデータを移行することは可能性のあるであるが**主なコラボレーション**は UCMS の**名前変更/rebrand** ではないです-、それは次のバージョン単にではない、製品名を相互に使用できませんことに注目すれば;それらは異なる OS で動作する異なるアプリケーションです。交互にアップグレードすることは可能性のある直接ではないです。

履歴

このセクションは製品の現在の生成が前のものからどのようにについての展開させたか詳細を提供します。ある特定の製品機能が起きた、またからの理解することは現在あるインポートを有用であるかもしれません。



管理アプリケーションの前の生成は 4 つの UCMS アプリケーションおよび主なコラボレーション マネージャで構成されています。UCMS アプリケーションは、CUOM、CUSM、CUSSM および CUPM、音声 環境の管理のための Microsoft すべての Windows ベース ユーティリティです。以前のバージョンは名前の一部として **プライム記号** が含まれていませんでした; これはリリース 8.6 と導入されました。形式的に、実際に、**プライム記号** の包含の名前を変更されるがよくあるようになりませんでした。そのように、最もまだオリジナル名称によって各製品を参照して下さい。バージョン 9.0 は UCMS スイートの各製品の最終的なリリースでした。

UCMS スイートの一部の PCM は Linux ベースで、ビデオ/TelePresence 環境を管理するために使用されます。2013 年 7 月 3 日現在で、PCM および UCMS アプリケーションのすべてのバージョンは終りの販売です。これらのアプリケーションを使用するすべての顧客はコラボレーションの発動を促すために移行するように勧告されます。

管理アプリケーションの現在の生成は 2 つのアプリケーションで構成されている主なコラボレーション パッケージ製品です、: 主なコラボレーション保証および主なコラボレーション提供。CUOM、CUSM および PCM の機能性はバージョン 9.0 初期リリースのための保証サーバに統合されます。CUPM は供給サーバとして Linux に rebranded、移植されました。CUSSM/Analytics 機能性はバージョン 9.5 リリースの保証に追加されました。顧客は新しいサーバのインポート スクリプトによって UCMS や PCM から移行できます。両方の主なコラボレーション スイートにおよび UCMS にバージョン 9.0 リリースがあることに注目して下さい。これはそれらが同じような名前および機能性を共有するので、供給サーバの潜在的な混合のための 1 より多くのエリア、特にです。

製品の詳細

このセクションは Cisco さまざまな音声およびビデオ関連の管理アプリケーションに詳細な情報を提供します。

Cisco Prime Collaboration パッケージ製品

- **Common Name:** 主な Collaboration/PC
- **別名:** CPC
- **説明** 音声およびビデオ 管理アプリケーションの現在の生成は、UCMS を取り替えます
- **End of Life (EOL):** 電流 EOL 表記無し

注 Cisco Prime Collaboration パッケージ製品はこのセクションで詳述される Cisco Prime Collaboration 保証および Cisco Prime Collaboration プロビジョニング 製品で構成されています。

Cisco Prime Collaboration 保証

- **Common Name:** 主なコラボレーション Assurance/PCA
- **別名:** CPCA、保証
- **説明** 監視およびレポート音声およびビデオ。バージョン 9.0 は PCM、CUOM および CUSM の機能性を兼ね備えます。CUSSM/analytics はまたバージョン 9.5 および それ以降と含まれています。

- バージョン: 9.0、9.5
- OS : Linux/CARS
- TAC サービス リクエストを開く時:

テクノロジー: Telepresence

副テクノロジー: 主なコラボレーション (保証) 9.x およびそれ以降 (TelePresence だけ) は TelePresence/ビデオ インフラストラクチャおよびエンドポイントと関連している製品問題のため-これです。テクノロジー: 音声通信マネージャ追加アプリケーションおよびプラグイン

副テクノロジー: 主なコラボレーション (保証) 9.x およびそれ以降は (TelePresence 以外) 他のすべての製品問題のために-これ使用されます。

Cisco Prime Collaboration プロビジョニング

- **Common Name:** 主なコラボレーション Provisioning/PCP
- **別名:** 提供する CPCP
- **説明** 音声およびビデオ プロビジョニングを提供します。バージョン 9.0 は本質的に Linux に rebranded、移植される CUPM です。バージョン 9.5 および それ 以降はビデオ関連の機能を組み込みましたり、また CUCM および Unity 接続のための UI の多くで奪取します。
- バージョン: 9.0、9.5
- OS : Linux/CARS
- TAC サービス リクエストを開く時:

テクノロジー: 音声通信マネージャ追加アプリケーションおよびプラグイン副テクノロジー: 主なコラボレーション (プロビジョニング) 9.x およびそれ以降-これはすべての製品問題のために使用されます。

Cisco Prime Collaboration Manager

- **Common Name:** Collab Manager/PCM
- **別名:** 主なコラボレーション マネージャ、コラボレーション マネージャ、CM、CPCM
- **説明** 監視は TelePresence、ビデオおよび関連するインフラストラクチャを解決し、(音声インフラストラクチャかエンドポイント無し)。名前にもかかわらず、これは主なコラボレーション パッケージ製品の一部ではありません。
- バージョン: 1.0、1.1、1.2
- OS : CARS/Linux
- **終りの販売:** 2013 年 7月 3 日
- **終りのソフトウェア メンテナンス:** 2014 年 7月 3 日
- **サポート終了:** 2018 年 7月 31 日
- TAC サービス リクエストを開く時:

テクノロジー: Telepresence副テクノロジー: 主なコラボレーション マネージャ-これはすべての製品問題のために使用されます。

Cisco Unified Communications 管理 スイート

- **Common Name:** Unified Communication 管理 Suite/UCMS

- **別名:** CUCMS
- **説明** これは監察する音声 管理アプリケーションの前の生成の一部、レポート、および音声環境のためのプロビジョンはです。それはオペレーション担当マネージャー (CUOM)、サービス モニタ (CUSM)、サービス統計情報マネージャ (CUSSM)、およびプロビジョニング マネージャ (CUPM) で構成されています。より小さいのために、それです同じでこれらのアプリケーションと一緒にインストールすること可能性のある断絶しますインストールします。もっとも一般的な共存するバリエーションは CUSM の CUOM です。すべてのアプリケーションは現在終りの販売であり、コラボレーションの発動を促すために顧客は移行するように勧められます。
- **終りの販売:** 2013 年 7 月 3 日
- **終りのソフトウェア メンテナンス:** 2014 年 7 月 3 日
- **サポート終了:** 2016 年 7 月 31 日

注 Cisco Unified Communications スイートは Cisco Prime Unified Operations Manager、サービス モニタ、サービス統計情報マネージャおよびこのセクションで詳述されるプロビジョニング マネージャプロダクトで構成されています。

Cisco Prime Unified Operations Manager

- **Common Name:** Ops Manager/CUOM
- **別名:** Cisco Unified オペレーション担当マネージャー、CPUOM、UOM、OM
- **説明** 音声関係 デバイスを監視します、下記のものを含めて: アプリケーション、ルータ、スイッチおよび電話。
- **バージョン:** 8.0、8.5、8.6、8.7、9.0 (また前UCMS からの 1.x および 2.x)
- **OS :** Windows サーバ 2003 年および 2008 年
- **終りの販売:** 2013 年 7 月 3 日
- **終りのソフトウェア メンテナンス:** 2014 年 7 月 3 日
- **サポート終了:** 2016 年 7 月 31 日
- **TAC サービス リクエストを開く時:**

テクノロジー: ネットワーク 管理 CiscoWorks副テクノロジー: Cisco Unified 管理アプリケーション (CUOM、CUSM、CUSSM、ITEM) はすべての製品問題のために-これ使用されます。

Cisco Prime Unified Service Monitor

- **Common Name:** Monitor/CUSM を保守して下さい
- **別名:** Cisco Unified サービス モニタ、CPUSM、USM、SM
- **説明** 広範囲の音声品質測定、レポートおよびアラートを提供します。
- **バージョン:** 8.0、8.5、8.6、8.7、9.0 (また前UCMS からの 1.x および 2.x)
- **OS :** Windows サーバ 2003 年および 2008 年
- **終りの販売:** 2013 年 7 月 3 日
- **終りのソフトウェア メンテナンス:** 2014 年 7 月 3 日
- **サポート終了:** 2016 年 7 月 31 日
- **TAC サービス リクエストを開く時:**

テクノロジー: ネットワーク 管理 CiscoWorks副テクノロジー: Cisco Unified 管理アプリケー

ション (CUOM、CUSM、CUSSM、ITEM) はすべての製品問題のために-これ使用されます。

Cisco プライム記号によって統一されるサービス統計情報マネージャ

- **Common Name:** CUSSM
- **別名:** Cisco Unified Service Statistics Manager、CPUSSM、USSM、SSM、統計マネージャ
- **説明** CUOM および CUSM からのデータに基づいてレポートを提供します。
- **バージョン:** 8.5、8.6、8.7、9.0 (また前UCMS からの 1.x)
- **OS :** Windows サーバ 2003 年および 2008 年
- **終りの販売:** 2013 年 7月 3 日
- **終りのソフトウェア メンテナンス:** 2014 年 7月 3 日
- **サポート終了:** 2016 年 7月 31 日
- **TAC サービス リクエストを開く時:**

テクノロジー: ネットワーク 管理 CiscoWorks **副テクノロジー:** Cisco Unified 管理アプリケーション (CUOM、CUSM、CUSSM、ITEM) はすべての製品問題のために-これ使用されます。

Cisco Unified Provisioning Manager

- **Common Name:** CUPM/Provisioning マネージャ
- **別名:** Cisco Unified Provisioning Manager、CPUPM、PM
- **説明** CUPM はユーザ/電話提供プロセスを簡素化するように意図されています。それはユーザ、電話および音声メール アカウントを管理するために使用する単一のインターフェイスを提供します。
- **バージョン:** 8.5、8.6、8.7、9.0 (また前UCMS からの 1.x および 2.x)
- **OS :** Windows サーバ 2003 年および 2008 年
- **終りの販売:** 2013 年 7月 3 日
- **終りのソフトウェア メンテナンス:** 2014 年 7月 3 日
- **サポート終了:** 2016 年 7月 31 日
- **TAC サービス リクエストを開く時:**

テクノロジー: 音声通信マネージャ追加アプリケーションおよびプラグイン **副テクノロジー:** Cisco Unified Provisioning Manager (CUPM) -これはすべての製品問題のために使用されます。